

2023年5月10日

各 位

東京都千代田区内神田二丁目12番5号

株式会社ビーマップ

代表取締役社長 杉野 文則

(東証グロース：4316)

問合せ先：取締役経営管理部長 大谷 英也

(電話 03-5297-2181)

特別損失・特別利益の発生並びに業績予想の修正に関するお知らせ

今般、2023年3月期において、特別損失並びに特別利益が発生することとなり、また、業績の動向を勘案し、2023年2月7日に発表いたしました2023年3月期通期の連結業績予想を下記のとおり修正いたします。

その他、2024年3月期において特別利益が発生することとなりましたので、これらの概要を以下の通りお知らせいたします。

## 記

## 1. 特別損失の発生（2023年3月期にかかるもの）

投資有価証券の一部について直近の財務・営業状況を勘案し、2023年3月期末において投資有価証券評価損 43,087千円を特別損失に計上することといたしました。

## 2. 特別利益の発生（2023年3月期にかかるもの）

2023年1月17日付の「株式会社MMSマーケティングの株式の取得（子会社化）に関するお知らせ」でお知らせいたしましたとおり、持分法適用会社であった株式会社MMSマーケティングの株式を追加取得し、連結子会社化いたしました。この結果、段階取得に係る差益 5,141千円を特別利益に計上することといたしました。

## 3. 2023年3月期連結業績予想数値の修正

2023年3月期通期連結業績予想修正（2022年4月1日～2023年3月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	1,020	▲220	▲230	▲230	▲71円09銭
今回修正予想（B）	1,042	▲181	▲188	▲224	▲69円54銭
増減額（B－A）	22	39	42	6	—
増減率（％）	2.1%	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績（2022年3月期）	1,021	▲144	▲148	▲155	▲48円32銭

## 【修正の理由】

前回発表以後、若干の売上高の上積みがあったほか、やや保守的に見込んでいた労務費・外注費等の製造原価も一定の縮減ができたことにより、若干、営業損失・経常損失とも改善できました。しかしながら、特別損失の計上により、親会社株主に帰属する当期純利益については、前回発表の水準となりました。

事業分野別の状況及び見通しにつきましては、以下のとおりであります。なお、セグメント損益には、  
全社費用 105 百万円を含みません。

(1) モビリティ・イノベーション事業分野

当事業分野においては、2020 年 6 月をもって株式会社ジェイアール東日本企画向けの時刻表や経路探索技術の提供を終了し、交通系 IC カードに関わる交通費精算クラウドサービス「transit manager」や私鉄向けアプリ開発等を行いつつ、鉄道事業者との間で新しい事業モデルの構築に取り組んでおります。しかしながら、鉄道利用者減少の影響により鉄道事業者の投資が慎重になる中で、当社の事業展開も遅れております。第 4 四半期においても小規模案件の積み上げに留まり、当事業分野の売上高は 75 百万円（前期 106 百万円）、セグメント損失は 30 百万円（前期 40 百万円）となる見込みです。

(2) ワイヤレス・イノベーション事業分野

当事業分野においては、従来は通信事業者と共同で主にインバウンド需要にむけた Wi-Fi クラウド管理システムの構築と運用を主力としておりましたが、コロナ禍・with コロナにおいて需要が回復しないまま、様々な無線デバイスを用いた IoT・ローカル 5G などの分野にも取り組みました。これらにより前前期並みの収益回復を目指す予定でしたが、従来下半期とりわけ第 4 四半期に集中していた大型案件の受注が伸びず、当事業分野の売上高は 645 百万円（前期 630 百万円）、セグメント利益は 35 百万円（前期 19 百万円）となる見込みです。

(3) ソリューション事業分野

ソリューション事業分野につきましては、近年注力している O2O2O・MMS サービスの主要顧客・業務提携先である流通業界の投資動向が徐々に回復しつつあり、また、ハードウェア販売、こんぷりんの証明写真サービスが徐々に伸長しており、企業向け受託開発案件も積み上げました。一方で、一時期の半導体需給の逼迫を受けて厚めに確保した販売用ハードウェアの棚卸資産が一部滞留したため評価減を行い製造原価が膨らみました。当事業分野の売上高は 320 百万円（前期 284 百万円）、セグメント損失は 80 百万円（前期 20 百万円）となる見込みです。

4. 特別利益の発生（2024 年 3 月期にかかるもの）

当社が保有する投資有価証券の一部を処分（売却）することといたしました。貸借対照表における評価額と売却額との間に差異が生じるため、2024 年 3 月期第 1 四半期において特別利益 11,286 千円を計上する予定です。

5. その他

モビリティ・イノベーション事業分野、ワイヤレス・イノベーション事業分野が計画を下回る一方、ソリューション事業分野は徐々に伸長しており、株式会社 MMS マーケティングの子会社化に伴い、2024 年 3 月期以降、当社グループにおける売上高の比重が高まる見込みです。従来の中期経営計画（「事業計画及び成長可能性に関する事項」を含む）の内容については、改訂と精査を行っているところであり、確定次第速やかに公表させていただきます。

(注) 2023 年 3 月期決算短信につきましては、2023 年 5 月 12 日の発表を予定しております。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいております。今後、変更すべき事象が生じた場合は速やかに発表させていただきます。

以 上